

## 令和六年度入学式 式辞

例年よりも開花が遅れた満開の桜が新入生の皆さんを誇らしげに迎えてくれた今日の良き日に、令和六年度大阪府立神津高等学校入学式を挙げていただきましたところ、PTA 副会長の田原裕之様、同窓会会長の坂下清信様のご臨席を賜り、誠にありがとうございます。高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、ただいま高津高校、第 79 期生、361 名の皆さんに、入学を許可いたしました。新入生のみなさん、入学本当におめでとう。私たちは、皆さんを心から歓迎します。

保護者の皆様方、お子様のご入学、誠におめでとうでございます。これからの三年間、お子様が成長する中で、いろいろと悩むこともあるかと存じますが、お子様にとって有意義で充実したものとなりますよう、教職員一同、全力でサポートしますので、どうぞご安心ください。

さて、本校は、創立百年を超える、歴史と伝統ある高等学校であるとともに、平成 20 年度に文部科学省の「SSH (スーパー・サイエンス・ハイ・スクール)」の指定を、また、平成 23 年度には大阪府から「GLHS (グローバル・リーダーズ・ハイ・スクール)」の指定を受けるなど、「文理」において創意工夫に満ちた時代に対応した教育活動を実践しています。

また、海外研修や体験型進路学習、生徒研究発表会への参加など、校外の活動にも積極的に参加し、より豊かな感性と幅広い教養を身につけられるようたくさんの機会を設けており、結果として、多くの先輩方が、さまざまな分野で幅広く活躍しておられます。

そして、その伝統を引き継ぐ者として、今日から、皆さんは高等学校の「79 期生」と呼ばれます。これからこの 361 名で共に学校生活を送る中で、一体感を持ち、一人ひとりが自信と誇りを積み上げていってほしいと思います。

さて、高津高校の校風は「自由と創造」です。皆さんも、この校風と校是「日新日進」に大きな魅力を感じて、高津高校を選択してくれたと思います。私は、縁あって、皆さんと同じく、この 4 月に高津高校に赴任しました。そして、皆さんより一足先にその校風に触れ、高津高校の生徒たちに大きな可能性を感じて、ワクワクしています。皆さんも同じように、毎日をワクワクして過ごしながら、新しい知識や発想、正しい分別を身につけ、校是である「日新日進」を体現してほしいと思います。

そのために、本日は、皆さんに学校生活を送るうえで心がけてほしいことを三つ伝えたいと思います。

一つは、「自由」の裏には「責任」があるということです。当然ですが、「自由」というのは決して「自分勝手」という意味ではありません。自身の行動、振る舞いには、常に「自己責任」がついて回ります。「自由」な環境であればあるほど、自分を律する強い気持ちと周りを気遣う優しさが重要です。また、時と場所、場面によって適切な振る舞いが必要です。

皆さんの「人間力」の成長に期待します。

二つめは、「授業は受け身ではなく、主体的に、より深く考える時間」にしてほしい、ということです。すでに、中学校でも自分で考える時間や、グループワークなどで仲間と協働して課題を解決する時間があったと思いますが、高校では、さらに主体的に、「待ち」や「受け身」の時間をなくし、自ら求める姿勢と、より深く考える時間を大切にしてほしいと思います。皆さんの「貪欲な知的好奇心」と「考える力」に期待しています。

三つめは、「人から応援される人になってほしい」ということです。私自身、これまでにいろんな方と接してきましたが、人から応援される方は、少々失敗をしても周りが支えてくれ、助けてくれます。そして、そういう方に共通する点は「誠実であること」、さらに、「何事にも手を抜かず、一生懸命取り組み、常に感謝の気持ちを忘れない」という点です。今、皆さんがここにいるのも、ご家族や友人など、周りの方の支えや応援があったからこそだと思います。これからも、目の前のことに誠実に取り組み、周りから応援される人になってほしいと思います。

あらためて、皆さんを、高津高校の一員として歓迎します。本日の出会いに感謝するとともに、皆さんが、自由な発想と、社会の変化を読み取る豊かな感性をもって、たくましく前進していく姿を楽しみに、そして、一人ひとりの三年後に期待して、本日の式辞といたします。

令和六年四月八日  
大阪府立高津高等学校  
校長 寺本 圭一